

# ●わが市・町を紹介します

## ～ Introduction of Our Hometown ～

### みづままち 三漕町

■人口：15,459人（平成12年国勢調査）  
 ■世帯数：4,390世帯（同）  
 ■町域：16・10平方キロ

町の地勢は東部の丘陵地帯を除くと、ほとんどが平坦で、豊かな沖積層平野を形成しています。

昭和36年には大型機械による実験農場を行うなど、早くよりほ場の整備が進められ、町全体を網の目のようにめぐっていた堀割は、クリークに姿を変え、公園を備えた遊歩道が整備されています。ほ場では、水稲を中心に麦・野菜・果樹などの栽培とともに、東部の丘陵地帯において黒松を独特の技法で仕立てた「三漕の松」が栽培され、町全体に広大な緑をつくりだしています。



誰もが楽しめる公園として整備された「水沼の里2000年記念の森」公園

古代、三漕地域は沼地や海との境で、「水沼の原」と称していました。この水沼が「三漕」となったのは鎌倉時代。中世には「三漕荘」と呼ばれ、江戸時代には久留米藩に属していました。明治4年の廃藩置県により三漕県が置かれましたが、わずか5年後、三漕県は福岡県に合併しました。明治22年に町村制が施行され犬塚村、三漕村、西牟田村が生まれ、昭和30年の町村合併法に基づき、犬塚村と三漕村が合併し、「三漕町」が誕生しました。さらに昭和32年、筑後市との境界変更により、西牟田町の一部が三漕町に移り、今日の町域となっています。

町の中央を西日本鉄道が縦断し、福岡市天神まで50分の通勤圏にあるため宅地化が進んでいます。町の財産である水と緑を大切に、より良いものに高めて次世代に伝えたいと考えています。その柱として全町公園化「水沼の里づくり構想」を進め、「水沼の里2000年記念の森」公園は、誰もが親しめる空間として、また、ため池群やクリークは、デッキや遊歩道を設置し水辺空間の魅力を高めています。

### ■新委員のお知らせ

（平成15年5月20日現在）

久留米市	川地 東洋男	2号委員	北野町	田中 和義	3号委員
田主丸町	長瀬 勇	2号委員	※2号委員	それぞれの議案が推薦した議員	
別府	好幸	2号委員	3号委員	学識経験者	

<http://www.kttnet.co.jp/kurume-koiki-gappei/>

久留米広域合併協議会のホームページには、協議会の開催案内や会議資料、議事録など、協議会に関する情報を満載しています。

また、これまでの合併に関する取組みや本協議会の規約、合併によるメリット、合併についてのQ&A、用語集などを掲載しています。このほか、本協議会の会議の開催日時、議題についても紹介しています。また、久留米市、田主丸町、北野町、城島町、三漕町の公式ホームページ、総務省の合併相談コーナーなどにもリンクしています。

「なんでも！ご意見箱」も用意しています。合併に対しての皆さんのご意見をお待ちしています。なお、このご意見箱にお寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の協議に十分反映させていきたいと考えていますが、個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

協議会の会議は、このホームページで開催日時や場所、議題、傍聴定員などを掲載しています。傍聴受付は、会場で協議会開始1時間前から開始時まで会場で受け付けています。ただし、定員になり次第締め切ります。受付で、住所、氏名、年齢を記入して下さい。ただし、会議の進行を妨げたり、周囲の人に迷惑をおよぼす恐れのある人は、傍聴できません。